

## 資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和3年10月1日同時配布



令和3年10月1日  
国土技術政策総合研究所

## 安全で円滑な自動運転の実現に向けた「合流支援情報提供システム」に関する研究成果が国際的に評価されました

～第16回REAAA道路会議で片平賞を受賞～

国総研の研究成果を紹介する論文「自動運転車への合流支援情報提供システムの開発」が国際的に評価され、第16回REAAA（アジア・オーストラレーシア道路技術協会）道路会議において片平賞\*（優秀論文賞）を受賞しました。

\*片平賞は、若手技術者を対象として、道路工学に関して特に優れた論文に与えられる賞で、第5期REAAA会長を務めた故片平信貴氏を追悼して設立されたものです。今回の第16回REAAA道路会議では、最優秀論文賞1本、準優秀論文賞1本、優秀論文賞2本が受賞しました。

### 研究の概要

安全で円滑な自動運転を実現するには道路側からの支援が重要です。そこで国総研では、官民共同研究により「合流支援情報提供システム」の開発を行っています。このシステムは、本線走行車両の速度等を路側のセンサで検知し、「本線走行車両が合流部に到達するタイミング等」の情報を合流しようとする自動運転車に提供するものです。今回受賞した論文は、システムの概要や、実道においてシステムの有効性等を検証した結果を紹介するものです。現在、センサなどの適切な設置位置を明らかにするための実験など、引き続き社会実装に向けて必要な研究を行っています。



合流支援情報提供システムのイメージ

### 【問合せ】

国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 関谷  
電話 029-864-4496 FAX 029-864-0178 sekiya-h92tb@milit.go.jp

## 会議の概要

REAAA道路会議は、4年ごとに開催されるアジア太平洋地域における道路工学関連の専門技術の推進、道路関係者の交流の場として、多くの道路関係者が参加する会議です。国総研では、広く海外での道路工学の発展に貢献するために、国際的にも注目されるこの会議に研究成果を発表し、技術的知見を発信してきました。

## 受賞の概要

会議名称 第16回REAAA（アジア・オーストラレーシア道路技術協会）道路会議  
場 所 フィリピン・マニラ（オンライン開催）  
受賞日 令和3年9月15日  
受賞名 片平賞（優秀論文賞）  
受賞論文 DEVELOPMENT OF A MERGING SUPPORT SYSTEM FOR AUTOMATED VEHICLES（自動運転車への合流支援情報提供システムの開発）  
受賞者 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 高度道路交通システム研究室  
室長 関谷 浩孝  
研究官 中田 諒  
主任研究官 中川 敏正  
前主任研究官 井坪 慎二  
前研究官 岩里 泰幸



(参考)

REAAA HP <https://www.reaaa.net/>

国土技術政策総合研究所 HP <http://www.nilim.go.jp/>

高度道路交通システム研究室 HP <http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/index.html>

本研究に関する論文

- ・ 受賞論文 [http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/japanese/3paper/pdf/2021\\_1.pdf](http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/japanese/3paper/pdf/2021_1.pdf)
- ・ 高速道路合流支援システム車両検知センサの精度確認  
[http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/japanese/3paper/pdf/2020\\_11.pdf](http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/japanese/3paper/pdf/2020_11.pdf)
- ・ 自動運転の早期実用化に向けた協調ITSの開発  
[http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/japanese/3paper/pdf/2020\\_5.pdf](http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/japanese/3paper/pdf/2020_5.pdf)